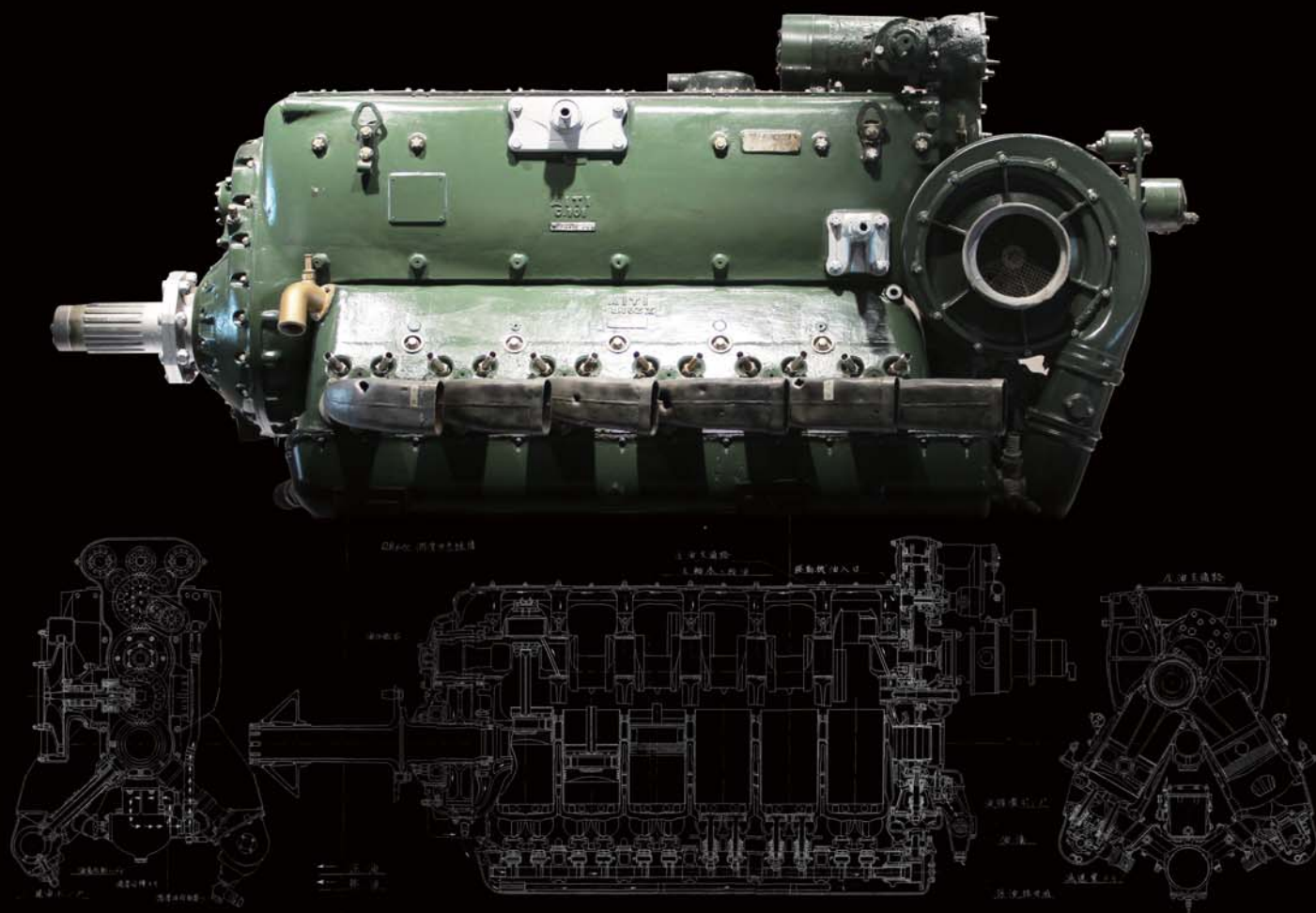


創立 120周年 記念特別展

# ものづくりDNAの原点



期間：2018 5/14 月 - 7/31 火 9:00 - 17:00  
土日祝は休みです

場所：愛知時計電機株式会社 本社 2 階ショールーム

愛知時計電機は、本年 7 月をもちまして創立 120 周年を迎えます。

これもひとえに皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

当社のものづくりは「知恵と工夫を凝らし、厳しい条件下でも高精度の製品を創り上げる力」です。

その原点が「時計」「航空機」、またラジオ放送への関わりでした。

このたび特別展として、当社のものづくりの原点となったDNAの一部を紹介させていただきますので、是非ご覧ください。

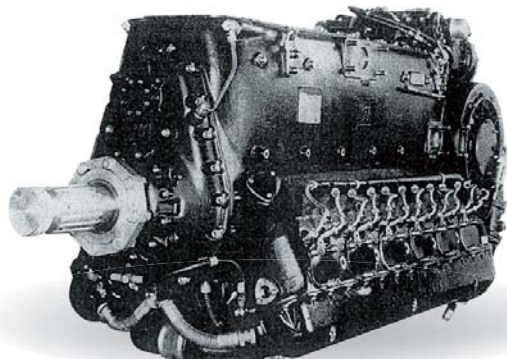
## 技術力の精粹 - アツタ発動機

### 【アツタ 21 型 (AE1A)】

1941 ~ 1944 年 愛知時計電機製造



アツタ発動機の展示は、靖国神社 遊就館様のご協力により展示させて戴いています。



独ダイムラー・ベンツ DB601 のライセンスを受け、アツタ 21 型や 32 型発動機として国産化し、彗星、晴嵐等に搭載した高性能の航空機用エンジンで、「我に 追いつく敵機無し」とのパイロット逸話が残る。原型の DB 601Aは、ポッシュ製燃料噴射装置や流体継手による無段階変速過給機を備えた世界最先端の液冷エンジンで、クランク軸にはローラーベアリングを採用するなど、極めて精緻な構造となっていた。

国産化には優秀な技術者だけでなく、精緻なパーツを生産する最新の工作機械や原材料資源の確保が必要であったが、それが叶わず、国内事情に合わせた独自の改変が必要となるなど、苦労の連続であった。各部の寸法精度を緩めたり、クランクシャフトにニッケルマンガンクロム鋼を使用出来なかったり、また、冷却液の入手性の課題から高圧水冷式に変更したりと、苦労しながらも所期の性能を達成したことは驚嘆に値する。鋳出しの文字「A I T I」に託された大先輩のエンジニア魂を感じ取ってほしい。

タ イ プ : 液冷倒立 V 型 12 気筒	乾 燥 重 量 : 655kg
ボア × ストローク : 150mm × 160mm	燃 料 供 給 方 式 : 燃料直接噴射式
排 気 量 : 33,930cc	過 給 機 : 遠心式軸駆動式過給器 1 段流体継手無段階変速
全 長 : 2,097mm	離 昇 出 力 : 1,200hp/2,500RPM
全 幅 : 712mm	生 産 数 : 843 基 (31 型は 873 基、合計 1,716 基)

## 愛知の宝石箱 - 元祖アイフォン

### 【鉱石ラジオ (AIPHONE)】(千葉県 池永様より寄贈)

大正 14 年 8 月 6 日通信省 (現、総務省) 型式証明番号「第 68 号」に、アイフォン I 型 (単球式) を登録した。

本品は一般への普及を目指し、大幅なコストダウンを図った昭和初期の製品。ちなみに銘板の愛知時計 (株) 会社とは大正 14 年 (1925) ~ 昭和 6 年 (1931) の間のみ分社して存在した会社である。



## 蓄音機のブランド (GLORIA)

### 【蓄音機 (GLORIA)】

明治 44 年に特許出願した「蓄音機回転自在発條発音函」の専売特許が、大正元年に特許第二三二七号と認められ、明治後半期からの東川端町の本社工場時計部門は、掛・置時計、蓄音機、洋灯 (石油ランプ) を製造し、大正期にはラップ拡声器付きのラジオを「アイフォン」の商品名で販売した。

GLORIA は「栄光」という意味で、蓄音機のトレードマークである。黄金色もさわやかなグロリア銘の蓄音機は、昭和に入ると、本器の様に、ポータブルな函入蓄音機として量産した。



お問い合わせ先

 愛知時計電機株式会社

本社: TEL:052-661-5151 (代) 〒456-8691 名古屋市熱田区千年 1-2-70

 120<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY